

現代ランドスケープデザインの構成手法に関する研究：1
構成要素と配置パタン

正会員 ○ 藤田 大海*
同 石田 潤*
同 岩岡 竜夫*

1. 序

ランドスケープとは広義には「風景、景観」とあるが、狭義には「都市化した現代社会において生態学的手法を取り入れて快適な外部空間の構成を目指すとするもの」(建築学用語辞典(岩波書店))とある。デザイン批評の中においても、その語の意味するところは広く、都市のあり方を問題にする際には建築とともに都市空間を形成する重要なキーワードとして認識されてきている。本研究ではそのランドスケープを建築構成の延長の空間造形として捉え、特有の構成手法を見出すことで、建築の意匠上および都市計画への有効な指針を得ることを目的とする。資料としては、都市空間の中や郊外の中で重要な位置づけがなされると考えられる作品を対象とし、現代の内外の主要な作品を建築関係の雑誌等を通して100作品選定した。また、ここでは1960年代にアメリカで起こったローレンス・ハルプリンらの斬新な運動を踏まえ、それ以降のランドスケープデザインを対象とする。表1は研究対象作品の属性を年代順に示したものである。

2. 構成要素と配置パタン

まず、各作品を構成している様々な要素を抽出し、それらがどのような単位(点的/線的/面的)で使われているのかを検討した(図1)。さらにそれぞれの各構成要素がどのようなパタンで配置されているのかを検討した結果、[パッチワーク][散在][直交][平行軸][幾何学的][有機的][際][全面]というパタンがみられた(表2左欄参照)。

次に、各要素の配置パタンが敷地全体のなかでどのように配置されているのかを検討した(表2上段参照)。「全体の配置パタン」はおおまかに全体がひとつのパタンで成立している[単

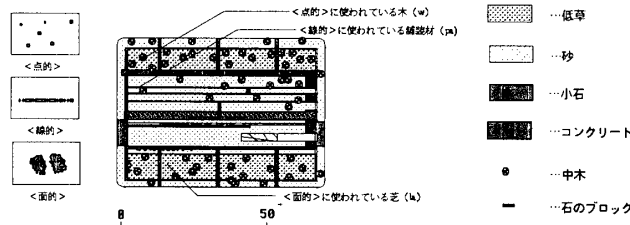


図1 要素の使い方と構成要素の抽出例 No.62カイル公園

表1 研究対象作品の属性(年代順)

作品名	設計者	国	竣工年
1 五本の塔の広場	ルイス・バラガン	メキシコ	1957
2 ニューヨーク近代美術館	ロバート・ライオン	アメリカ(ニューヨーク)	1965
3 ラス・アルボレダス	ルイス・バラガン	メキシコ	1965
4 インディペンデンス・モール	ダレン・カイリー	アメリカ(フィラデルフィア)	1963
5 駒沢オリンピック公園	芦原浩信	日本(東京)	1964
6 ベイリー・パーク	ロバート・ライオン	アメリカ(ニューヨーク)	1967
7 ラブジョイ・プラザ	ローレンス・ハルプリン	アメリカ(オレゴン)	1967
8 オーディトリウム・フォアコート	ローレンス・ハルプリン	アメリカ(オレゴン)	1968
9 クアトラン・サン・クリストバル	ルイス・バラガン	メキシコ	1968
10 オークランド美術館	ケビン・ローチ&フリードバーグ	アメリカ(オークランド)	1969
11 陸軍省	ケビン・ローチ	アメリカ(オレゴン)	1970
12 テラ・ムーバー	ピーター・ウォーカー	オーストラリア	1972
13 クリスチャン・サイエンス	ササキ・アノシエイツ	アメリカ(ボストン)	1973
14 トリオンヴェガ島地	カルロ・スカルパ	イタリア(トリノ)	1973
15 セキュリティ・パシフィック	ピーター・ウォーカー	アメリカ(ロサンゼルス)	1974
16 ヴニセガ・セメタリー	ニコロ・スター	スロベニア	1976
17 ヴェスタス・プラザ	ヴェンチュリ&ラウレンチ	アメリカ(ワシントンD.C.)	1977
18 コードレイズ公園	マイケル・コーラジック	フランス	1977
19 コシベドの広場	ピエ&ロジャース&アーキテツク	フランス(パリ)	1977
20 ハナワカ本社	ポール・フリードバーグ	アメリカ(ミネソタ)	1978
21 ケンブリッジセンター 地上美術館	ピーター・ウォーカー	アメリカ(マサチューセツト)	1979
22 パーク・プレイス	ポール・フリードバーグ	カナダ(シカゴ)	1982
23 パーケット・パーク	ピーター・ウォーカー	アメリカ(テキサス)	1983
24 9つの空層/9つの階	ロバート・アウウィン	アメリカ(シカゴ)	1983
25 カリフォルニア・シナリオ	イサム・ノグチ	アメリカ(カリフォルニア)	1983
26 キカール・レパード	ダニエル・リブ	イスラエル	1983
27 仙台広域河川総合治水計画	景設計事務所	日本(宮城)	1983
28 ロアック・スクエア	オーサー・エリクソン	カナダ(バンクーバー)	1983
29 25年計画	ローザ・アムガルドン	フランス(パリ)	1984
30 コメデイ広場	アラン・カウリ	フランス(モンペリエ)	1985
31 タナニ・ファウンテン	ピーター・ウォーカー	アメリカ(マサチューセツト)	1985
32 つばせつ広場	磯崎新	日本(茨城)	1985
33 フリボス広場	ネラ・ゴラング	スペイン	1985
34 政府合同庁舎リノベーション	ダニエル・アノシエイツ	アメリカ(カリフォルニア)	1985
35 スイス・ユニオンバンク	ハイナール・ローデル	スイス	1986
36 パーキング・パーク	ポール・フリードバーグ	アメリカ(ワシントンD.C.)	1986
37 キューメント・プラザ	相田剛介	日本(山梨)	1986
38 インターナショナル・センター	アーロン・ジマーマン	アメリカ(シカゴ)	1987
39 ファウンテン・プレイス	ダレン・カイリー	アメリカ(ダラス)	1987
40 パンパーガーデン	アレキサンデル・シュメトフ	フランス(パリ)	1987
41 奉天河東地区親水公園	景設計事務所&環境造形研究所	台湾	1987
42 工業スペース	ルイス・ベネ・カンチエギ	スペイン(バルセロナ)	1988
43 ガンダム・スクエア	ジャックス・コラン	フランス(パリ)	1988
44 トリオン広場	ニコラス・ドララン	フランス(リヨン)	1988
45 バイ・オプ・ダム広場	ジャックス・コラン	フランス(セインツ)	1988
46 赤坂の道	ダニエル・リブ	韓国(ソウル)	1988
47 リネ・ショッピングセンター	マヤ・シュワルツ	アメリカ(アトランタ)	1988
48 ベティ・クロード	アノカ・ジバン	フランス(コヴェンツ)	1989
49 大庭所立寄つつし鳥島博物館	安藤忠雄	日本(大阪)	1989
50 グランドモルバーク	東京ランドスケープアーキテツク	日本(神奈川県)	1989
51 新山下公園	坂倉建築研究所	日本(神奈川県)	1989
52 熊本県立博物館	安藤忠雄	日本(熊本)	1989
53 ラ・ヴェレット公園	バーナード・チュミ	フランス(パリ)	1990
54 ロンダ・プロムテード復興計画	エイナス・トレス	スペイン	1990
55 北条公園	長谷川逸子	日本(神奈川県)	1990
56 トラコック公園	アンドリュース・アリゾラ	スペイン(バルセロナ)	1990
57 デパートメンタル公園	デヴィット・フッド・デ・マルン	フランス(ヴァレント)	1991
58 バルメラ広場	ペドロ・バラガン	スペイン(バルセロナ)	1991
59 八代市立博物館	ナンシー・フィンレイ&伊東豊雄	日本(熊本)	1991
60 イースト・スケールト	ウェストB	オランダ(セーラント)	1992
61 カイリー公園	クリスティアン・バルノッキー	フランス(リヨン)	1992
62 代官山ヒルサイドテラス	磯崎新	日本(東京)	1992
63 北条公園	クリスティアン・バルノッキー	フランス(パリ)	1992
64 丸亀ステーションプラザ	ピーター・ウォーカー	日本(香川)	1992
65 福岡記念公園	高野朗史&プランニング	日本(東京)	1992
66 ジェットワーズ島	アンソルビー・ブリエル	フランス	1993
67 カレタ・デ・ダテティグ島	アントニオ・スエレス・リナレス	スペイン(ランザローテ)	1993
68 ヲボロビロ花港通工	アークルー&伊東豊雄	日本(北海道)	1993
69 サン・ジェームズホテル	イブス・ブルニエ	フランス	1993
70 ジョナ広場	エイナス・トレス	スペイン(シロナ)	1993
71 エニール・センター半島	ブルーベス・スコレツ	デンマーク	1993
72 福岡市文化ホール	磯崎新	日本(福岡)	1993
73 福岡市立博物館	マヤ・シュワルツ	日本(福岡)	1993
74 福岡科学公園都市	ピーター・ウォーカー	日本(福岡)	1993
75 ミュージアム・パーク	エイナス・ブルニエ	オランダ(ロッテルダム)	1993
76 丸根ガザ	PROGランドスケープ	ベルギー(アルゴワ)	1994
77 クロムボート公園	バルト・ブラント	オランダ	1994
78 シトロエン公園	ジル・クレメン	フランス(パリ)	1994
79 アトランティック公園	フランコイス・ブラワン	フランス(パリ)	1994
80 熊本県立美術館	長谷川逸子	日本(熊本)	1994
81 福岡市文化ホール	高野朗史	日本(福岡)	1994
82 ヴェストB	ウェストB	オランダ	1995
83 パンパーン・プロムテード	アンドリュース・アリゾラ	スペイン(バルセロナ)	1995
84 スファラグ広場	ウェストB	オランダ(ロッテルダム)	1995
85 テラオワクス広場	ダニエル・ブリアン	フランス(リヨン)	1995
86 バルセロナ島	ホルガ・タラソ	スペイン(バルセロナ)	1995
87 丸根ガザ	風間サトル(佐々木満二)	日本(広島)	1995
88 福井市下馬中央公園	運籌所建築研究所	日本(福井)	1995
89 鳥島展望台	磯崎新	日本(愛媛)	1995
90 新築広場	新築良助	日本(愛知)	1995
91 大野公園	エリック・ベルリン	フランス(セイント・ヴァルファン)	1995
92 大野市中央体育館	ブルントフ&シエイツ	日本(宮城)	1996
93 安曇野ちひろ美術館	内藤繁	日本(長野)	1996
94 ニュージャージー州	ニコル・リア・ミューラ	ドイツ(ベルリン)	1997
95 水原モリアル	カサキエバ&ロメスデザイン	日本(神奈川県)	1997
96 風の丘	ジョセフ・パローネ	日本(熊本)	1997
97 風の丘	三谷徹&磯崎新	日本(大分)	1997
98 テレボート・パーク	ウェストB	オランダ(アムステルダム)	1997
99 阿蘇野村公園	堀正人	日本(熊本)	1998

Study on the form of Contemporary Landscape design: 1
Element and Pattern

FUJITA O-mi, ISHIDA Jun and IWAOKA Tatsuo

一]パタンと、全体の中に部分の配置パタンをもつ複合パタンがある。複合パタンには、部分のパタンが互いに近接している[並置]、全体としてシンメトリーな構成をもつ[対称]、各部分配置が重なりあっている[オーバーレイ]、部分のパタンが互いに関係性をもたない[散在]パタンがある。表2は、部分の配置パタンと全体の配置パタンの相互関係により各作品を分類したものである。その結果、作品の頻度による分布から「構成要素と配置パタン」によるいくつかの類型が得られた。

類型-Iは[パッチワーク]による[単一]で、構成要素は面的な舗装材が多くみられるもの。類型-ロは[並置][対称]に配置されている[直交][平行軸]で構成要素は水、中高木が多くみられるもの。類型-ハ1は[オーバーレイ][散在]に配置されている[パッチワーク][散在]で構成要素はそれぞれ、面的な舗装材と点的な中高木、オブジェが多くみられるもの。

の。類型-ハ2は[オーバーレイ][散在]に配置されている[散在]で面的なマウンド、芝、中高木であるもの。類型-ハ3は[オーバーレイ][散在]に配置されている[平行]で線的な中高木であるもの。なお各類型の代表例を図2に示す。

3. 結

以上、ランドスケープデザインにおいてその内部構成に着目し分析、検討を行なった。その結果、「全体が面的な要素で構成され、要素の形状または素材により統合しているもの」、「全体が整然と統合される中で部分のパタンに直交、平行を多く使うもの」、「全体としての統合は明瞭ではないが、部分のパタンには散在が多く、強制的に直交、平行を多く使うもの」という3つの特徴を得ることができた。これらはそれぞれ構成要素においても共通性がみられ、要素における特性を生かし、全体を構成しているいくつかの手法のあらわれであるといえる。

表2 構成要素と配置パタンによる類型

全体パタンと 該当作品数	単一 18作品	並置 15作品	対称 8作品	オーバーレイ 41作品	散在 18作品
パッチワーク (A) ランダム・ドット	(点) 60.w 40.gr 76.w (線) 7.w 32.w 60.w 92.w 93.r (面) 7.jp 11.la.pa.la.w 27.m 32.pa.gr.w 33.jp.wa.la 40.la.gr.w 68.m 76.gr.pa 92.jp.la.la.w 93.la.la.w	20.w 42.w 75.w 78.w	15.w 23.w 46.w 50.la	63.pa 84.pa 86.pa 87.pa 72.gr.pa 96.pa 97.pa 99.pa.la	【オーバーレイ・散在】に配置される ハ1 パッチワーク/面的(舗装材) 点的散在(中高木・オブジェ)
散在 (B)	(点) 34.w (線) 34.gr.w	16.la.w.la	15.wa 21.o	2.gr 8.pa 14.wa.la 17.w 18.la 22.la 25.m 37.la 41.m 43.la.a 45.la.a 53.la.w 56.la 63.la 71.m 77.a 80.m 86.w 100.m	1.o 10.w 46.w 50.la 54.w.o 58.w 69.w.o 82.o 90.w
直交 (C)	(点) 39.w 42.w 47.o 75.w 78.w 85.w.o (線) 39.wa	39.wa 42.w 47.o 75.w 78.w 85.w.o	15.w 21.pa	4.wa.la.w 9.w 36.w 43.o 34.o 67.w 33.a 77.wa 81.w 87.o	【オーバーレイ・散在】に配置される ハ2 散在/面的(マウンド・芝・中高木)
平行軸 (D)	(点) 19.pa 35.a.w (線) 35.la.wa 35.la.wa 49.m 61.la	42.o 44.w 78.a 3.w 20.w 30.w 42.a 44.o 75.la.gr 83.w	50.wa 79.w 46.o 50.w 51.wa.la 79.pa.o	17.w 41.m 56.w 71.w 84.o 87.wa 96.pa.w 18.w 21.la.w 22.w 28.w 37.a 43.w 56.o 59.pa.w 62.pa.o 63.w 65.pa.w 67.w 77.m 82.w 84.o 87.wa 96.pa	5.w 10.la 13.a 55.wa 57.m.w 58.la 70.a 73.w 74.m 95.wa 98.w
幾何学的 (E)	(点) 20.wa 88.r.o (線) 20.wa 88.r.o	39.a 47.la.m 78.la.wa.gr.a.w 83.pa	50.wa 79.la.gr 50.wa 79.r	31.o 43.w 45.w 81.wa 59.w 62.o 77.w 80.r 81.pa 87.r	【オーバーレイ・散在】に配置される ハ3 平行/線的(中高木)
有機的 (F)	(点) 34.r (線) 75.w	34.r 75.w	50.wa 79.r	65.o 72.pa 25.wa.w 29.gr	45.wa 55.wa 69.wa 48.wa 55.wa 58.m 73.r 95.r

・主な各構成要素として中高木 (w) 低木 (lw) 芝・コケ (la) 小石・砂・土・貝 (sa) 低草 (gr) 水 (wa) マウンド (m) 輪線 (r) 舗装材 (pa) 照明 (l) オブジェ (o) 階段 (s) 遊具 (a) ベンチ (b) をあげている。
・表中の記号は(作品No./構成要素)を差している。また、表中の(点)、(線)、(面)とは図1にある点の要素、線の要素、面的要素を表わしている。

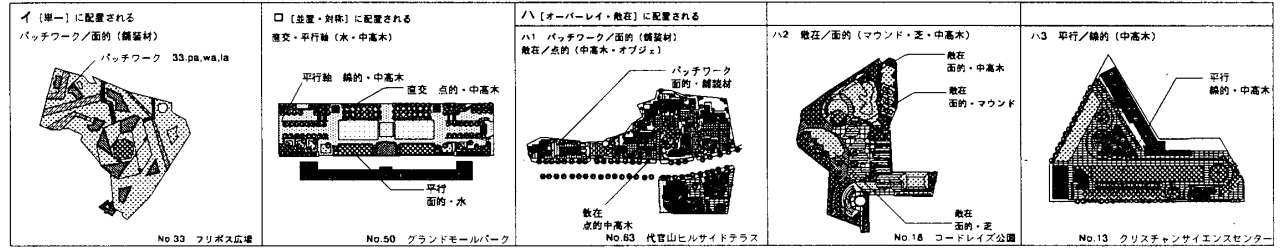


図2 各類型の代表例

* 東海大学

* Tokai University